



蔵探検 特集号



はじまり 「みんなで蔵を調べよう!!」

私達、喜多方市民は、蔵について「知っている気になっている」だけで、本当の蔵の現状は知らないのではないかな?

蔵探検の提案がなされたのは、一年前、2月22日に行われた喜多方蔵のフォーラムにおいてでした。

喜多方には、蔵が約2600棟あるといわれていますが、この2600という数字は、数十年も前の調査のものです。喜多方は、「蔵とラーメンのまち」といわれているのに、誰も、その数さえ知らない。そこで、蔵の会ではまちづくり市民財団の助成金を得て、「市民参加による蔵の調査」をはじめようということになりました。

一方、昨年の蔵のフォーラム以降、蔵の会の動きと並行して、小学校の総合学習の中でも、「蔵」が扱われることになりました。蔵の会では、数年計画である「蔵の調査」の第1段階として、この総合学習とタイアップしながら、喜多方の蔵の現状を明らかにしていくこととなりました。



喜多方蔵のフォーラム

今年度の調査

今年度は、豊川小学校(3年)、松山小学校(5,6年)、熊倉小学校(3年)、入田付小学校(5,6年)、第二小学校(3年)、で蔵を総合学習に取り上げました。それぞれの学校で、その地区ならではのおもしろい取り組みがなされました。

これらの蔵の総合学習の成果は、2003年12月21日に蔵の会が主催した「蔵delしゃべんべ」において、まちの人に対して発表してもらいました。

蔵探検特集号では、各学校の成果の一部を紹介します。



蔵delしゃべんべ

蔵のひみつさがろう

喜多方はかせになろう

豊川小学校(3年生)

将来、子供たちが自分のまち・蔵に誇りを持って語れるようになってほしいです。(夏井先生)

喜多方の蔵のとくちょう(その1)



いろいろなところに蔵がいっぱい!
市がいににも、農村部にもたくさん蔵があるよ!

喜多方の蔵のとくちょう(その2)

蔵はいろいろなことに使われているよ!

- そうこ
- お店(店蔵)
- 住まい(ざしき蔵)
- うるしめりの作業場(めり蔵)
- 酒のちよぞう(酒蔵)
- みそちよぞう(みそ蔵)
- しょうゆのちよぞう(しょうゆ蔵)
- やしきのへい(へい蔵)
- トイレ(かわや蔵)



喜多方の蔵のとくちょう(その3)

いろいろなしき・るいの蔵があるよ!



- ・白しつくい
- ・黒しつくい
- ・れんが
- ・土かべ
- ・板かべ

甲斐本家の鳥城蔵(うじょうくら)。喜多方ではあまり見られない、とてもめずらしい蔵です。

蔵のひみつミニ知識 1

【蔵にえがかれたマークはなあに?】

それは、「家紋」(かもん)です。左官屋さんが、たてめしにたのまれて、かきます。家紋があると、蔵の持ち主がだれであるか、一目でわかりますね。



もうひとつは、「こて絵」です。これは、左官屋さんが、自分のうでまきをみせるための絵です。えんぎのいい動物や植物などを「しつくい」でもりあげてつくります。蔵かべをめぐる「こて」を使います。



こて絵



喜多方では、上岩崎集落に見られます。



喜多方の蔵へ

蔵のひみつミニ知識 2



【土かべの蔵ができるまで】

土台を石でかため、その上に木の柱を立てます。間に竹を組んですきまをなくし、土かべをめります。最後に屋根を乗せます。

かべの厚さは、なんと30~60センチ!びっくり!



熊倉小学校(7年生)

蔵学習のノウハウを学べる場があるとよかったです。もっと調査をやりたいかったです。(原先生)

蔵を持っている人にアンケート

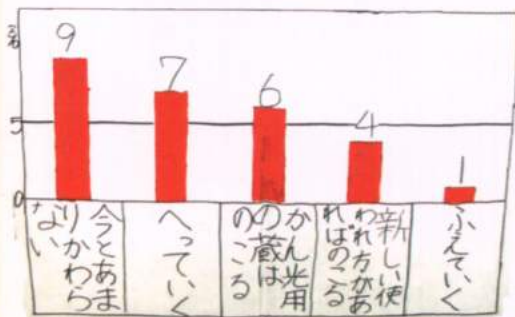
「これからも蔵を使っていますか？」

「今のまま使っていきたい」9人!!

「使っていくかは分からない」3人

「これからも米や野菜などを入れるためにぼんぼんしていきたいと思っている人が多いようです。」

「これからの蔵はどなるのか？」

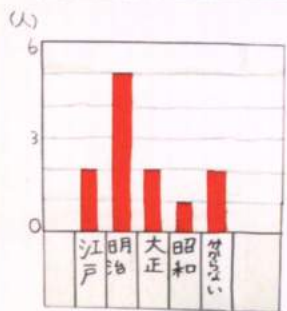


「いつごろ建てられたか？」

家にくらかあるか (28人中)

ある 12 ない 16

いつごろ建てられたか



昭和 1人
大正 2人
明治 5人
江戸 2人
不明 2人

今は、どのように使われているのか？

- みそぐら
- 物置き
- じむ所
- おいわいごとの道具
- ふとんやタンス
- 米ぐら
- 食料置き場
- 昔の着物
- 農具
- たばやせじ物
- 大切な物



くらは何のために建てられたか？

- みそ
- 米
- 食料
- 大切な物
- うつわ
- さしき

第二小学校(7年生)

子供たちの親も、蔵に興味をわいたようです。(遠藤先生)



蔵めぐりをして、職人さんや蔵主の方のお話を聞きました。

松山小学校(5年生)

今度は蔵への提案をしてみたいです。(飯野先生)

蔵の構造

ぼくたちは、実際に壁をつくってみました。この写真が、かべぬりです。さらにぬりました。蔵の壁を、実際に作るのがわかりやすくていんしょうにのっています。木を垂直に組むのが意外と難しかったです。こま竹を細かく、組むのがたいへんでした。ぼくも大きくなったら、大工や蔵職人になりたいです。



蔵の壁について



これはレンガの腰壁



これは壁を塗る道具

ぼくたちは、蔵の壁について調べて、壁の種類や、腰壁のことがよく分かりました。壁職人の原さんに壁の塗り方や壁を塗る道具の説明を聞き、壁の作り方についてよく分かりました。壁をめぐる材料がたくさんあることや、壁を上手にぬることがむずかしいということがよく分かりました。これからも蔵のことについてもっと調べたいと思います。

蔵の仕組みのことがよくわかりました。

蔵の歴史ニュース

私たちは、蔵の歴史について調べました。調べた蔵は、「峰の雪」「甲斐本家」「山中せんべい」「若喜商店」です！(略)次に、甲斐本家へ行って歴史を調べてきました。これが甲斐本家の写真です。甲斐本家は、大正十三年に造られました。私達のおじいちゃん、おばあさんも生まれていません。



今度の蔵は、世界初のレンガの蔵です。ここは、若喜商店です。店蔵もやっています。お店の人に蔵のことについて聞いてみました。「蔵は明治〜正にかけてつくられました。ここには、何個かの蔵があります。それには、えんとつがあります。そえんとつが、台風の影響でおれて、短くなってしまいました。」(略)

蔵の歴史を調べてたくさんとはいえないけど、色々な古い歴史やまだ新しい歴史や蔵の持ち主がわかってよかったです。

蔵の数



南町の蔵の数を教えていただき、その蔵がいま、何につかわれているかがわかりました。

ふれあい通里には、私たち前、地図で調べたら31棟ありました。でも、実際に行ってみたら22棟しか見つかりませんでした。どんな蔵がどこに何棟あるのか、分かって良かったです。どの蔵が、有名なのかもわかって良かったです。

みんなでまとめ話し合っ地域の人達の蔵を一件一件見てまわって今のようまとめました。まとめられたのは、蔵探検の見学に協力してくれたみなさんのおかげです。ありがとうございます。調べたら蔵とはいろいろ使われ方がありました。

古い蔵の歴史がよくわかってよかったです。もっと多くの蔵の歴史を調べてみたいです。

蔵を建てるということは、一人前になったようなので、とても立派だと思います。ぼくたちが、その頃に生まれる立派な蔵を建てられるか不安です。蔵のことを調べて蔵が喜多方に多い理由がわかりました。また今度機会があったらもっとくわしく調べたいです。

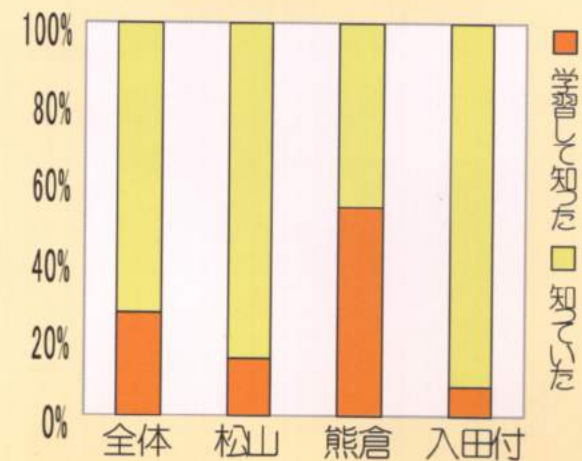
アンケート

今年度の蔵の総合学習を終えて、松山小、熊倉小、入田付小のみんなにアンケートをしました。

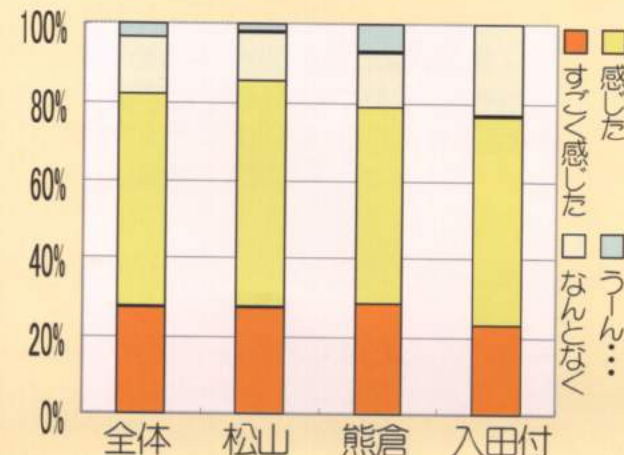
喜多方が蔵のまちだということを知った子、改めて感じた子が結構いるようです。

詳しい結果をご希望の方は、蔵の会事務局(4面)まで

質問1：喜多方は蔵の街って知っていた？



質問2：蔵の町を感じた？



蔵探検物語

杉山の土蔵を調べたり、模型を作ったりして、蔵のよさについて考えよう

①杉山の蔵探検 6月26日



②調べたことの中継発表会



③蔵の模型づくり

蔵の大きさ調べ

モデルにした蔵と設計図
蔵の模型の大きさ
⇒ 20分の1



骨組み作り



壁めり



④学習発表会 (11月16日)



蔵の模型完成!!!



蔵の会では、今後も様々な方と協力して「市民による蔵の調査」を進めていきます。もちろん、学校でも「蔵の総合学習」は続きます。みなさんも一緒に、喜多方にとって大事な「蔵」を楽しみながら考えていきましょう！

★蔵の会では、「蔵調査隊」の隊員を募集しています★

蔵に興味のある方はもちろん、蔵をよく知らない方も、大人も子供も、是非一緒に蔵並をめぐり歩いたり、蔵作りを体験してみたりしませんか？ 詳しくは右記・蔵の会まで。

蔵探検・模型作成などに協力して下さった蔵主の方・職人さん・父兄の方々、その他多くの方、どうもありがとうございました。なお、今年度の各学校の調査結果や、蔵deしやべんべの様子、全体の報告書などをほしい方は、下記まで連絡ください。

発行・問合せ連絡先

蔵の会

<事務局>
喜多方市字寺町4761番地 北方風土館(内)
電話 0241-22-2233 FAX 0241-22-2223
E-mail y.sato@yauemon.co.jp

編集協力
東京大学都市デザイン研究室
(<http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>)

このニュースレターはまちづくり市民財団の助成を受けて作成されています。